

平板の高温疲労試験

安定した温度制御が可能な電気炉付き疲労試験機を用いて、平板の高温疲労試験を実施します。

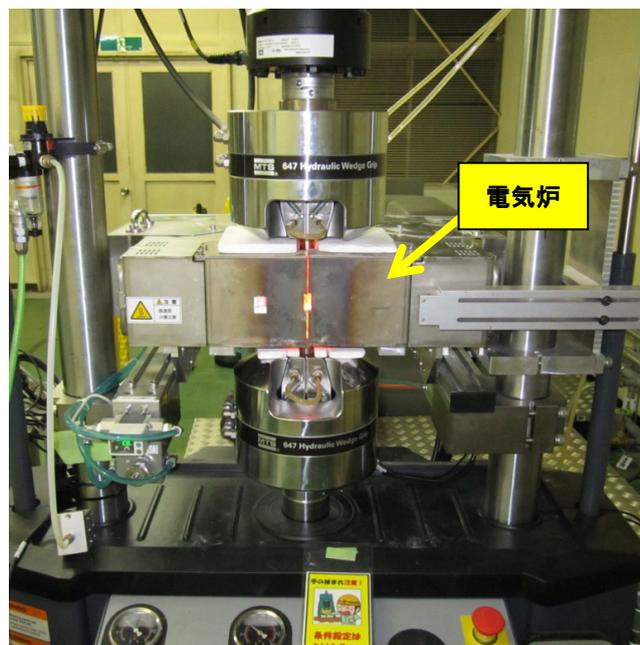
試験の概要

一般的な丸棒試験片のみならず、平板試験片の高温疲労試験が実施可能です。1200℃まで安定して温度を制御できます。板厚5mmまで試験可能です。

試験機の仕様と特徴

- 試験機 : MTS社製 油圧サーボ疲労試験機
- 負荷容量 : ±100 kN(炉外で試験片をつかむため、高温下でも試験力は落ちません)
- 最大ストローク : ±75 mm
- 試験温度 : 300℃～1200℃(試験片の材質によって変わる場合があります)
- 加熱方法 : 電気炉(上記温度範囲において±3℃以内に制御)
- 軸芯調整治具 : 有り(ASTM E1012に対応しています)
- 適用材料 : 金属材料(セラミックス溶射材なども含む)

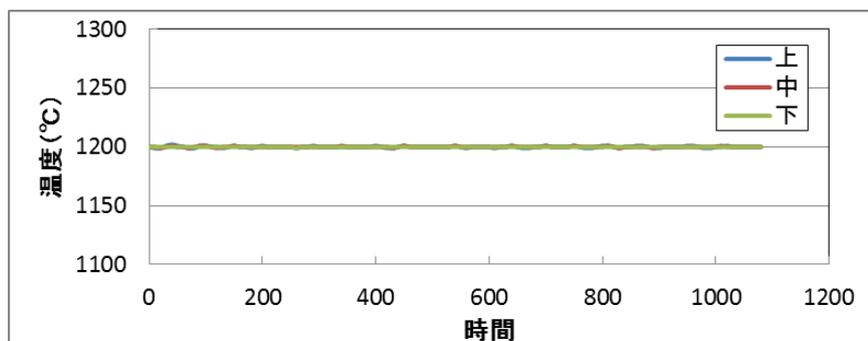
試験例



試験状況



試験片取り付け状況



温度経過 (設定温度: 1200℃)